

## 牛白血病ウイルスの経乳感染防止に関する調査

京都府丹後家畜保健衛生所

○田中義信 極山 太

【はじめに】牛白血病ウイルス（BLV）のまん延が見られた1酪農場において、凍結及び熱処理の初乳給与による経乳感染防止効果と経乳感染初期におけるリンパ関連組織中のBLVプロウイルス（BLPV）について調査した。【方法】試験①：子牛を給与初乳により非処理（9頭）、凍結処理（8頭）、熱処理（8頭）の3群に区分し、末梢血中BLPVと血清中BLV抗体をそれぞれNested PCR法、受身赤血球凝集反応により検査した。試験②：非処理のBLV陽性初乳を給与された2週齢子牛（3頭）の末梢血及びリンパ関連組織（回腸パイエル板、脾臓、胸腺、浅頸リンパ節）中のBLPVをreal-time PCR法により検査した。【結果】試験①：非処理及び凍結処理では全頭抗体陽性となった。熱処理の8頭中7頭で20か月齢までBLPVは検出されず、残り1頭は2週齢でBLPVが検出された。試験②：BLPVは2頭で全検体とも検出されず、1頭でパイエル板を除く組織及び末梢血から検出された。【考察】調査農場ではBLVの感染は経乳感染が主であり、熱処理初乳給与は感染防止に効果があると考えられた。陽性初乳給与後の2週齢でBLPV非検出の子牛ではBLPVが体内で増殖せず、末梢血でBLPVが検出された子牛では胎盤感染が疑われ、体内でBLPVが増殖している可能性が示唆された。